

国内の先進事例調査（案）

調査方法・調査仮説・調査事項

調査方法

- 事前調査
 - 文献調査、web調査
- 本調査
 - ヒアリング（現地在基本、適宜zoom等を使用）
- ヒアリング実施回数
 - 8自治体以上
 - 各事例毎に2時間×1回

調査仮説

- 仮説①：高度な参加段階を実現・実現を目指しているか
- 仮説②：政策決定過程におけるステップの違いがあるか
- 仮説③：意見表明しやすい場が設定されているか

調査事項（事前調査）

- 実施自治体、対象年齢
- 意見聴取機会の確保方策（項目1）
- 対象政策、政策決定過程、参加段階、影響範囲

調査事項（本調査）

- 参画するこどもの選び方（項目2）
- 参画するこどもの年齢や発達段階に応じた聴く側の体制（項目3）
参画するこどもの年齢や発達段階に応じた配慮事項（項目4）
意見聴取以外のこどもの意見の反映方法（項目6）
 - **構築した意見反映プロセスの形骸化を防ぐ**ため、
こどもから意見を引き出すに当たって配慮していることについてヒアリングを行う。また、こどもの意見を第三者が代弁するなど、直接意見聴取する以外の方法を取る際に配慮すべきことについてもヒアリングを行う。
- 参画するこどもの年齢や発達段階に応じた適切なフィードバック（項目5）
- 項目1の考え方（年齢や発達段階、アナログ・デジタル、政策決定過程）
- 意見反映の実現に向けた工夫
 - **声をあげにくいこどもの意見反映の工夫**
 - **聴取した意見を聴いて終わりではなく、反映に結び付ける**ために行っている工夫。具体的には、子ども会議に市担当職員を同席させる、予算を割り当てるなど
- **現在の参加段階に至るプロセス、行動変容（こども・大人）ハードルと対応方法**
- 取組みにおいて課題に感じていること
 - 既存の取組みで課題に感じていること。**今後新たに構築する意見プロセスを検討する際に予め対策を立てられるようにする。**

国内の先進事例調査（案）

調査対象候補

- 多くの好事例を収集するため、以下の候補のうち、委員の方がご知見をお持ちの自治体については委員の方から情報提供いただき、事務局では、それ以外の自治体について調査することとしたい。
- そのため、委員の方から情報提供いただける自治体があれば、ご提案いただきたい。
- また、事務局側での調査に当たって、優先的に調査すべき自治体等についてご意見をいただきたい。

#	自治体	取組内容	取組手法	子ども参加の段階
1	町田市 (東京都)	「町田創造プロジェクト（MSP）」「高校生評価人による事業評価」「若者が市長と語る会」「子ども委員会」など、幅広い年齢、参画レベルで取組みを実施。「高校生評価人による事業評価」では、YouTubeによる配信を行い、子ども・若者からアンケートを収集	・常設の会議体や場の設置	7：若者が主導し、方向性を定める
2	豊田市 (愛知県)	「豊田市子ども会議」などと実施し、子どもからの意見を聴取。過去、子どもの権利条例を検討した際には、子ども委員のみによる条例案の検討や、条例案起草ワーキンググループとの意見交換を行うなど、子ども主導で方向性を定めた実績を有する	・常設の会議体や場の設置	6：意思決定を大人・若者で共有しながら大人が導く
3	遊佐町 (山形県)	中高生が有権者となり、選挙で少年町長及び少年議員を選出。少年議会において、独自予算（45万円）で政策を立案、実現させている	・常設の会議体や場の設置	6：意思決定を大人・若者で共有しながら大人が導く
4	新城市 (愛知県)	市長の附属機関である「若者議会」が年間1,000万円の予算で政策を企画、市議会対応を経て政策を実現	・常設の会議体や場の設置	6：意思決定を大人・若者で共有しながら大人が導く

国内の先進事例調査（案）

#	自治体	取組内容	取組手法	こども参加の段階
5	千葉市 (千葉県)	「こどものまちCBT」「こども・若者のカワークショップ」「こども・若者フォーラム」「こども・若者市役所」など幅広い年齢、参画レベルで取組みを実施	<ul style="list-style-type: none"> ・常設の会議体や場の設置 ・不定期の機会や場の設定 	6：意思決定を大人・若者で共有しながら大人が導く
6	江戸川区 (東京都)	子どもの権利条例制定プロセスにおいて、「小学生向けWS」「中学生向けWS」「自ら声をあげることが難しい子どもへのヒアリング」「小中学生への意見聴取」など、多様な方法でこどもの意見を反映。子ども会議も設置	<ul style="list-style-type: none"> ・常設の会議体や場の設置 ・不定期の機会や場の設定 	6：意思決定を大人・若者で共有しながら大人が導く
7	奈良市 (奈良県)	「奈良市子ども会議」は、テーマ検討段階から関係各課の巻き込むことで、反映にコミットする体制に特徴がある。また、奈良市生涯学習財団と連携し、「もっともっとおもしろい奈良をつくる100人会議」「子ども奈良CITY」等のこどもの社会参画も促進	<ul style="list-style-type: none"> ・常設の会議体や場の設置 ・不定期の機会や場の設定 	6：意思決定を大人・若者で共有しながら大人が導く
8	八王子市 (東京都)	「子ども☆ミライ会議」「子どもミライフォーラム」などを実施し、市政へのこどもの意見反映に取り組む。こどもの提案を具体化するために、実施団体との連携も行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・不定期の機会や場の設定 	6：意思決定を大人・若者で共有しながら大人が導く
9	酒田市 (山形県)	「酒田南高校版元気みらいワークショップ」「酒田コミュニケーションポート（仮称）整備に関する高校生アンケート調査」など市民参加型まちづくりに若者の意見を反映	<ul style="list-style-type: none"> ・不定期の機会や場の設定 ・アンケート 	6：意思決定を大人・若者で共有しながら大人が導く
10	目黒区 (東京都)	「中学生アンケート」は、中学生が興味や関心を持っていることや、まちづくり、防災などについて意見を聴きながら中学生自身がアンケートを作成し調査を行う。その結果をもとに中学生の座談会を行い中学生の声を更に区政へ反映する取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート 	6：意思決定を大人・若者で共有しながら大人が導く

国内の先進事例調査（案）

#	自治体	取組内容	取組手法	こども参加の段階
11	ニセコ町 (北海道)	こども視点でのまちづくりとこどもたちの参加を目的に「小学生・中学生まちづくり委員会」「子ども議会」を設置し、こどもの意見反映に取り組む	・常設の会議体や場の設置	5：生徒からの意見を基に大人が導く
12	世田谷区 (東京都)	区長の附属機関である「子ども・青少年協議会」（区民、区議会議員、学識経験者、関係行政庁職員、および専門委員）を通じて、区政への子ども・若者の声を反映。具体的にはユースミーティング世田谷で青少年から意見聴取、ユースミーティング世田谷委員が子ども・青少年協議会小委員会に参加することにより、検討内容をフィードバック	・常設の会議体や場の設置	5：生徒からの意見を基に大人が導く
13	川崎市 (神奈川県)	こども主体の「子ども会議」、大人とこどもで構成される「学校教育推進会議」「子ども運営会議」など、市政等へのこどもの意見反映を目指し、意見表明をする場の整備が進んでいる	・常設の会議体や場の設置 ・常設の支援制度による工夫	6：意思決定を大人・若者で共有しながら大人が導く
14	青森市 (青森県)	「子ども会議」に、小学5年生～高校生の子ども会議委員と18歳～30歳未満の子どもサポーターを募集し、こどもの意見をより引き出す工夫をしている	・常設の会議体や場の設置 ・常設の支援制度による工夫	5：生徒からの意見を基に大人が導く
15	豊島区 (東京都)	「豊島こども大学」「としまこども寺子屋」「利用者会議」など、こどもの社会参加を促すための場づくりが進んでいる。また、「としまこども会議」では、市職員がファシリテーターを務めて検討の助言をするなど、提案された意見の反映を目指している	・常設の会議体や場の設置 ・不定期の機会や場の設定	5：生徒からの意見を基に大人が導く
16	松戸市 (千葉県)	「こどもモニター」を市内の小中学生から募り、市の事業や政策に対する、こどもの意見反映に取り組む。その他、社会参加の場として、「子ども会」がある	・不定期の機会や場の設定	5：生徒からの意見を基に大人が導く
17	石巻市 (宮城県)	こどもが企画・デザインして石巻市子どもセンター（児童館）を再建、運営。指定管理者制度の導入において、子ども委員を設置し指定管理者選定にこどもの意見を反映	・不定期の機会や場の設定	5：生徒からの意見を基に大人が導く

(参考) 国内の先進事例の分類マップ

取組内容と対象児童・生徒の学齢で以下のように分類

色の意味 (自治体単位で判定)

- 5. 生徒からの意見を基に大人が導く
- 6. 意思決定を大人・若者で共有しながら、大人が導く
- 7. 若者が主導し、方向性を定める
- 8. 若者が主導し、大人とともに意思決定を共有する

		対象とする児童・生徒の学齢			
		小学校 (1年～3年)	小学校 (4～6年)	中学校	高等学校
取組内容	常設の会議体や場 (子供会議等) の設置による意見収取・反映			中学生～20歳「若者が市長と語る会」(町田市)	15～18歳「町田創造プロジェクト」(MSP) (町田市) 高校生「事業評価」(町田市)
	常設の支援制度による工夫		小学3年生～18歳「子ども委員会」(町田市) 小学4～6年生「子ども議会」(江戸川区) 10～17歳「奈良市子ども会議」(奈良市) 10～18歳「としま子ども会議」(豊島区) 小学4年生～高校生「川崎市子ども会議」(川崎市) 小学4年生～中学生「学校教育推進会議」(川崎市) 小学4年生～中学生「小学生・中学生まちづくり委員会、子ども議会」(二セコ町)	小学5年生～高校生「子ども議会」(豊田市)	高校生～「こども・若者市役所」(千葉市)
	不定期の機会や場 (WS、フォーラム、市長との意見交換等) による意見収集・反映		小学4年生～高校生「川崎市子ども会議サポーター制度」(川崎市) 小学5年生～18歳未満・高校生「子どもサポーター (18～30歳未満)」(青森市)	小学生～高校生「WS、ヒアリング、意見聴取」(江戸川区) 小学生高学年～中高生「WS」(千葉市) こども・若者「フォーラム (サミット)」(千葉市)	小学生～高校生「子ども・若者市役所」(千葉市) 小学生「子ども奈良CITY」(奈良市) 小学6年生「こどもモニター」(松戸市) 小学5年生～高校生「子ども☆ミライ会議 (フォーラム)」(八王子市)
	アンケートによる意見収集・反映		小学3～6年生「豊島こども大学」(豊島区) 小学3～6年生「としまこども寺子屋」(豊島区)	小学4年生～高校生「まきトーーク」(石巻市) 中学生～高校生「座談会」(目黒区) 中学生～高校生「アンケート」(目黒区)	高校生「アンケート」(酒田市)